

地方再生事業 推進協を発足

住民や有識者で構成



事業の進め方について意見を交わす委員
—吉野川市の美郷ほたる館

国の「地方の元気再生事業」に取り組む吉野川市の美郷商工会は19日、住民や学識経験者らでなる推進協議会を発足させた。各分野からさまざまな助言をもらい事業を効果的に進める。

協議会は大学助教やNPO法人、住民団体代表ら委員12人。市美郷ほた

る館（美郷宗田）で開かれた初会合では、委員から「少子高齢化が著しく、地域の人だけで景観を守り続けるのは難しい。地域外から積極的に賛同者を受け入れては」「地域経済の活性化につながるような仕組みが必要」との意見が出た。

商工会は交流人口増を目指して、元気再生事業として、ホテルや高開の石積みといった自然や地域資源を保全する体験プログラム開発に取り組んでいる。

再生事業は内閣府が昨年度に創設。美郷商工会は今年6月末に採択された。事業費として830万円が交付される。